

ハーブソン Hokkaido 2012

結果・速報版



北海道爬虫両棲類研究会

はじめに

2012年7月22日～29日にかけて、北海道爬虫両棲類研究会主催の「ハーブソン Hokkaido 2012」が開催され、事故もなく無事に終了したことを嬉しく思います。また、多数の方々が様々な地域での活動報告をくださったことに大変感謝いたします。

本イベントの詳細な報告、及び結果等につきましては、2011年12月に改めて報告書を作成し、公表したいと考えております。様々な考察や、反省点などを含め、今後のハーブソン開催について考えていきたいと思えます。

北海道爬虫両棲類研究会

会長 徳田龍弘

調査の結果について

参加チーム数:26 チーム

ばいかだ・たきかわ環境フォーラム・ハマダラ・減圧症・びつこ
チームやまはな・まろん・自然ウォッチングセンター・チーム寺島
チーム沼人(ぬまんちゅ)・チーム8823・東海大札幌
チームポリプテルス・カエルヤ姉チーム・jintarou・はなちゃん
とかちへいや生物部・わんぱく遊び隊!・枝豆クラブ
日本野鳥の会滝川支部・みつく&なつつ・環境調査Aチーム
チーム浅野・ざりがに探偵団・CHIKUDAI NRA・チームPEG

参加者数:90 名

調査されたエリア:47 エリア(期間外の情報を頂いたエリアが他に3)

振興局別(エリア詳細は別添ハープソン Hokkaido 地区マップ参照)

石狩振興局:14 エリア 渡島総合振興局:4エリア 桧山振興局:0エリア
後志総合振興局:3エリア 空知総合振興局:10エリア(期間外+1)
上川総合振興局:5エリア 留萌振興局:0エリア 宗谷総合振興局:0エリア
オホーツク総合振興局:0エリア 胆振総合振興局:4エリア(期間外+1)
日高振興局:0エリア 十勝総合振興局:3エリア
釧路総合振興局:3エリア(期間外+1) 根室振興局:0エリア

期間内調査で確認された種:15 種

ニホントカゲ・ニホンカナヘビ・ジムグリ・アオダイショウ・シマヘビ
ニホンマムシ・ミシシippアカミミガメ・キタサンショウウオ
エゾサンショウウオ・ニホンアマガエル・エゾアカガエル
アズマヒキガエル・ツチガエル・トウキョウダルマガエル・トノサマガエル

頂いた生息データ数:

正式記録(写真あり):122 データ, 参考記録(写真なし):37 データ
その他の期間のデータ:3データ

各詳細データについて

速報としてお知らせするデータは以上です。細かな種ごとの分布や検討などについては、12月発行予定の本報告書にて行う予定です。

受賞等について

今回の「ハーブソン Hokkaido 2012」では、一生懸命調査を下された方々に3つの賞を検討いたしました。各受賞チームには賞状と、当会からの粗品を差し上げる予定です。

最優秀賞

ハーブソン期間中に最も多くの種を、正式記録として報告して下さったチームです

受賞者： **わんぱく遊び隊!** (7種)

2位： まろん(6種)・東海大札幌(6種)

3位： 自然ウォッチングセンター(5種)・チームやまはな(5種)

辞退： ばいかだ(14種) 理由(主催者のため)

Booby3賞

種数が最下位から3番目の方々、3チームに授与しました。同率で5チームありましたが、公平に抽選を行い3チームを決定しました。

(抽選の様子の動画: <http://youtu.be/En1tMtt5YIA>)

受賞者： **チーム8823** ・ **みつく&なつ** ・ **チーム浅野** (全て2種)

次点： **カエルヤ姉チーム** ・ **環境調査 A チーム** (全て2種)

写真賞

調査写真から、特に写真賞に応募のあったものを、野生動物写真家中島宏章氏(写真賞)と会長の徳田龍弘(ばいかだ賞)を選定いたしました。

これらの写真(応募のあった写真9点)については、12月8日に札幌市で予定されている、北海道爬虫両棲類研究会大会(ハーブソン発表会を兼ねる)にて中島氏が講評する予定です。(当日これらの写真も飾る予定です)

受賞者

写真賞: **ハマダラ**(写真題:幸せですか?)

ばいかだ賞: **チーム8823**(写真題:風流「古池や…」)



幸せですか?



風流「古池や…」

なお、各賞につきましては受賞者が12月8日の研究会大会に参加できる場合は表彰式を行いたいと思っております。もし、参加できない場合は、賞状及び、粗品をチームの代表者に発送を持って授与したいと思います。

おわりに

この発行物は速報にて、簡易な発表になっております。細かな種の分布確認や考察、参加者の感想やハーpsonという爬虫類と両生類の調査事業の今後についてなど細かく考察した、ハーpson Hokkaido2012報告書を12月に発行の予定です。このハーpson Hokkaido2012を実施するにあたり、(財)北海道新聞野生生物基金の助成や多くの方々のはげましをいただき、無事に進めていくことができました。事務局の人数不足等にて、皆さまへのお知らせ等が若干遅れてしまうところもありましたが、ひとまずの実施部分については、無事に終わることができてとても安心しています。12月に発行する報告書もいいものを作り、多くの皆さまに見て頂き、北海道の爬虫類や両生類に対して多く人々の関心をひいていけるようなものを目指していきたいと思ひます。

また、ハーpsonは単発事業ではなく、年々のデータを蓄積することに意味があります。現在はまだまだデータが少ないですが、第2回、第3回と回数を重ねて、北海道内の爬虫類や両生類の生息マップを広げていきたいと考えております。実施期間の間隔につきましては未定ではありますが、2013年もハーpson Hokkaidoを行なって行きたいと事務局では考えております。

皆さまのご協力を得つつ、北海道爬虫両生類研究会も体勢を整えて次回以降のハーpsonを迎えたいと思ひます。その際には、是非また、皆さまのハーpsonへの参加を期待していきたいと思ひます。

今後ともハーpson Hokkaido 及び、北海道爬虫両生類研究会をよろしく願ひいたします。

執筆：徳田龍弘(北海道爬虫両棲類研究会・会長)

北海道爬虫両棲類研究会
北海道札幌市南区定山溪温泉西
2-45-1-306(事務局)
<http://koke-koke.com/>
twitter: @HHS account